

綾南ダム（小野湖）を活用した
【ウォーターフロント推進事業】戦略構想

（須木庁舎：地域振興課）

【ウォーターフロント推進事業】戦略構想



【ウォーターフロントの活用】

【基本構想】

大自然に囲まれた須木地域の綾南ダム（小野湖）の水環境を活かし、リゾートレクリエーション中心の滞在・、交流型の観光地づくりを目指した、環境整備やネットワークづくりを行い、地域住民と都市生活者の交流ステージ（新しい舞台）の創出を行う。

【主要戦略】

水上スポーツの推進

【重点実施項目】

水上スポーツの取組み

- ①合宿推進委員会との連携
- ②ボート・カヌー競技の誘致
- ③地域住民の水上スポーツ活動
- ④フィッシング大会の実施

体験型観光による取組み

体験型観光の取組

- ⑤すきむらづくり協議会との連携
- ⑥カヤックスクールの開催
- ⑦スタンドアップパドル（SUP）ツアー
- ⑧バンジージャンプの復活
- ⑨水上体験＆農家体験プランの確立
- ⑩インストラクターの養成

小野湖を活用した 癒し空間の創出

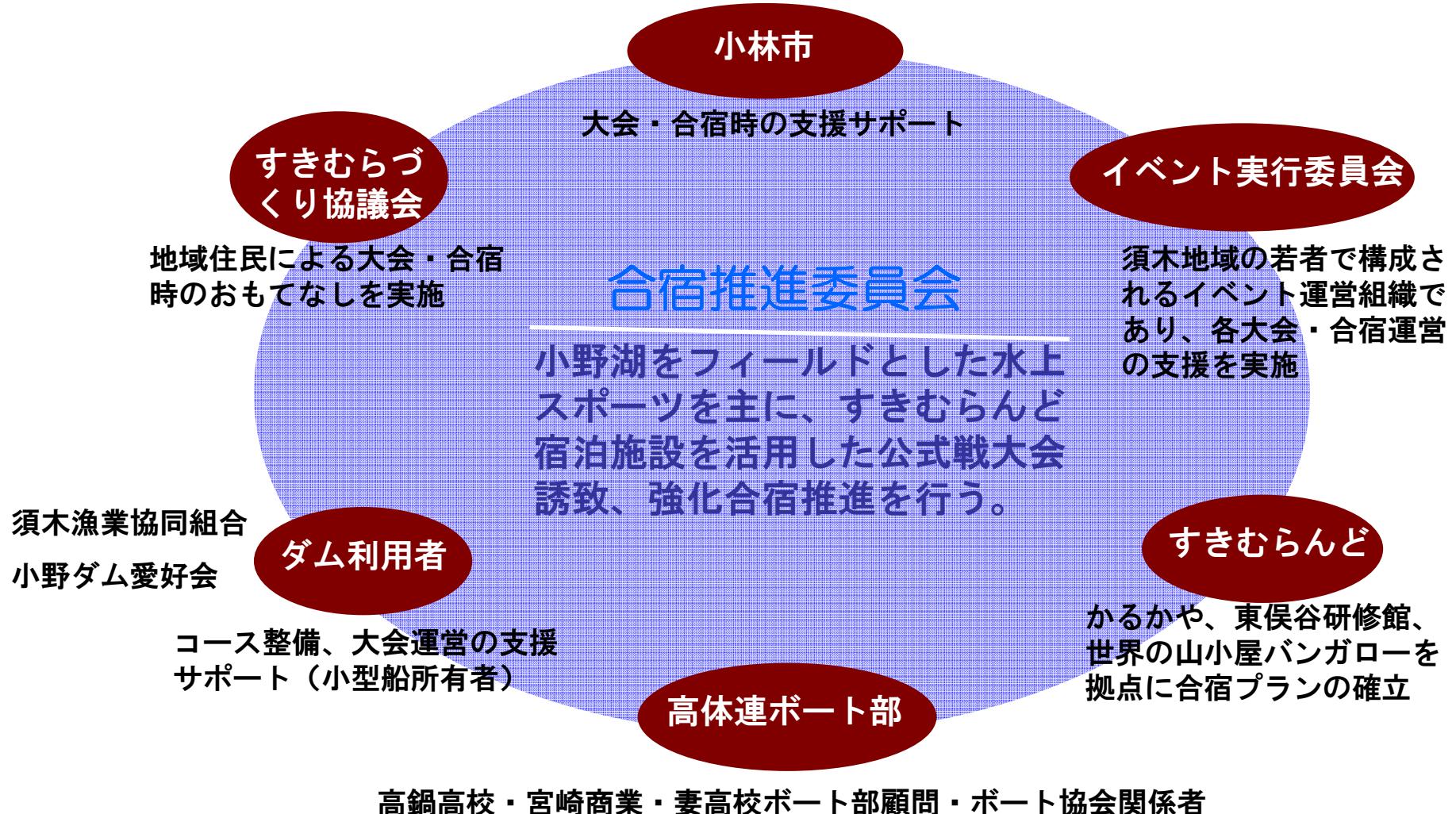
癒し空間の創出

- ⑪小野湖周遊屋形船の運航
- ⑫滝つぼレストランの開催
- ⑬もみじの里周遊コース整備
- ⑭プロジェクトマッチング
- ⑮かじかの湯の整備
- ⑯リラグゼーションメガサップ

【水上スポーツの推進】

①. 合宿推進委員会との連携・組織づくり

市・すきむらづくり協議会、地元ダム利用者（須木漁業協同組合・小野ダム愛好会）・高体連ボート部・イベント実行委員会、すきむらんどによる、合宿推進委員会を結成しウォーターフront事業を推進しています。



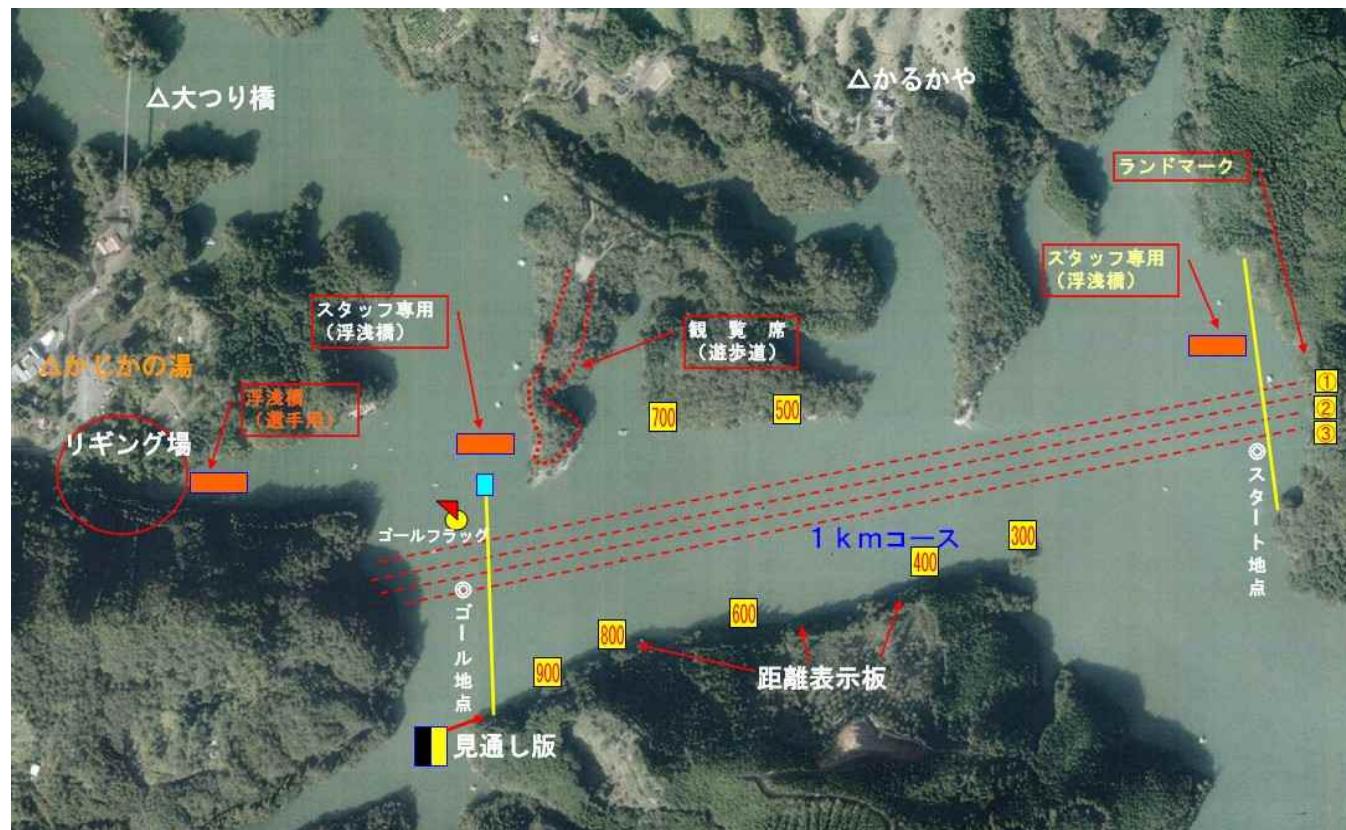
【水上スポーツの推進】

②. ボート・カヌー競技の公式戦大会・強化合宿の誘致

平成28年10月に小野湖を特設会場として、小林市で初めての高鍋高校・妻高校・宮崎商業高校の3校による県高校新人戦ボート大会が開催された。

今後は、本格的に艇庫の建設、船発着所（リギング場合む）や観覧席を整備し、小野湖漕艇場としての認定に向けた取組みを行い、合宿推進委員会を中心とした、ボートやカヌー競技の大会や合宿を積極的に誘致していく。また、小林市・えびの市・高原町及び都城地域の県西地区には、ボート競技のフィールドが無いことからも今後、小野湖漕艇場が果たす役割は大きく、県西地区での各高校のボート部やカヌー部の設立が期待され、先には宮崎県の競技力の向上にも繋がる事が見込まれる。

【小野湖漕艇場】 1 kmコース



【小野湖漕艇場コース】

【県新人戦大会の様子】小野湖漕艇場 1 kmコース
高校生ボート競技の公式戦大会の様子



【水上スポーツの推進】

③. 地域住民のスポーツ活動

【市民向けレガッタ大会】

須木区域住民のスポーツ活動を促進するために、小野湖ふれあいレガッタ大会の開催を実施する。地元住民にもボートを漕ぐ楽しさを体験してもらうとともに、市民相互の親睦を図る交流の場として小野湖を提供する。市内住民に限らず県内外の一般ボート愛好者にも呼びかけをすることで、市外利用者の促進も期待ができる。



【参照：江の川レガッタ大会の新聞記事】



【参照：レガッタ大会一般参加者の様子】



【参照：レガッタ大会使用のナックルボート】

【水上スポーツの推進】

④. フィッシング大会の開催

小野湖には、多くの魚種が生息しており県内外から多くの釣り人が訪れている。特に人気のブラックバスについてはKBC（小林バスクラブ）がバス釣りトーナメント大会を実施している。

今後は須木漁業協同組合を中心に、小野ダム愛好会・KBCと連携して小野湖フィッシング大会を実施し、県内外からの参加者を募る。協賛にシマノやダイワといった有名釣り具メーカーへの協力を依頼し、大会中の様子を釣り情報誌へ掲載してもらう事で更なる釣り人への誘致を図る。



【参照：小野湖フィッシング大会の様子】

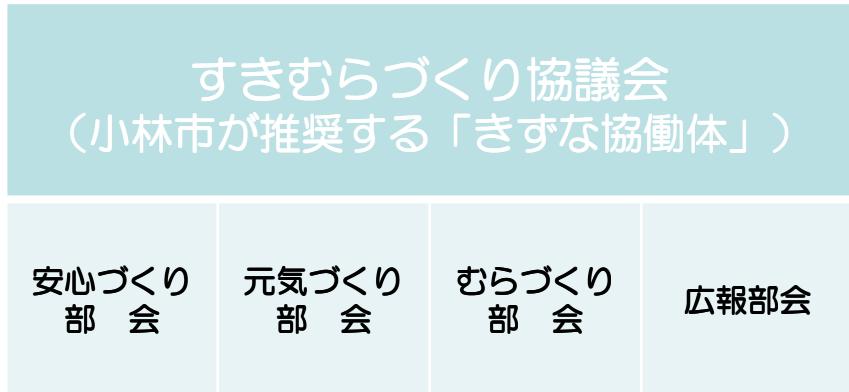


Gomakasu®
フジヤマ
SHIMANO

【参照：有名釣り具メーカーとの連携】

⑤【すきむらづくり協議会の取組み（連携事業）】

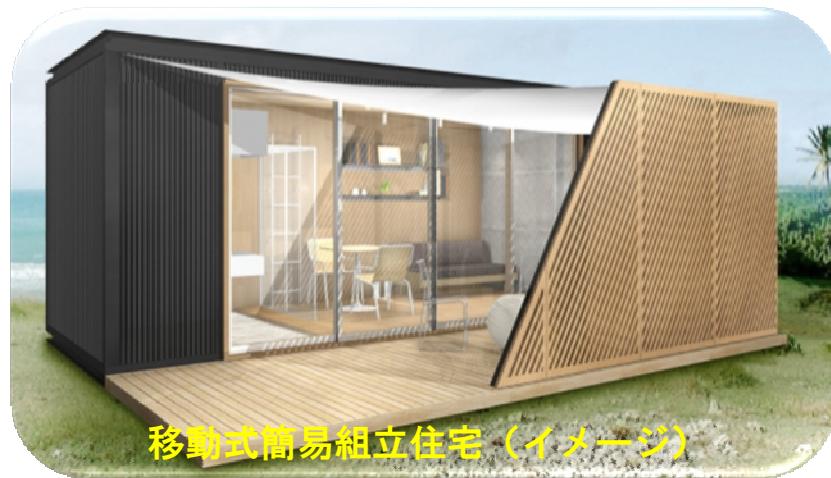
地域住民によるまちづくり協議会「すきむらづくり協議会」は、地域住民と行政が密接な関わりを構築することで協働のまちづくりを推進する。体験型観光のイベント企画のみならず、ウォーターフロント事業では、各種開催されるイベント事業に地域住民一体となり、おもてなしによる受け入れ態勢を整えていく。



【体験型観光による取組み】

⑥. カヤックスクールの開催

これまで、個人利用者や市の交流事業で利用されていたカヤック体験教室を通年型の体験教室として取組む。平成28年度より始まった熱中小学校で整備予定の移動式簡易組立住宅を利用して観光客誘致を図る。



【体験型観光による取組み】

⑦. スタンドアップパドル（SUP）ツアー

本年度、須木地区の地域おこし協力隊と宮崎市にあるアウトドアフィットネスクラブのSURF CITY MIYAZAKIは小野湖を利用したSUPツアーを企画・実施。カヤックと同様に移動式簡易組立住宅を利用したツアーや体験教室を企画し観光客誘致を図る。



【参照：小野湖でのSUPツアーの様子】



SUPポロ大会の開催（イメージ）



SUPレース大会の開催（イメージ）



SUPを使用したヨガ教室開催（イメージ）

【体験型観光による取組み】 SUP体験ツアー in 小野湖



【体験型観光による取組み】

⑧. バンジージャンプの復活（観光DMOでの取組み）

平成元年から平成3年まで、すきむらんど大つり橋を活用し小野湖でのバンジージャンプが実施され、オープン当時は年間10万人の来場者が訪れていた。

アドベンチャーアトラクションとして、バンジーインストラクター会社との委託契約を行いバンジージャンプの復活イベントをGWや夏休み企画として行う。



【参照：海外で実施されているバンジージャンプ】

【バンジージャンプについて】

1. 開催箇所は全国で11箇所であり、九州では熊本県五木村、大分県城島高原パークの2箇所となっている
2. 体験料金の相場は、1万円～3万円であり熊本県五木村では、12,000円でダイブできる。

【体験型観光による取組み】

⑨水上体験＆農家体験プランの確立

北きりしま田舎物語には、農家の丸1日を心ゆくまで満喫できる農家民泊と、気軽に田舎気分・農業体験が味わえる日帰り田舎体験の二つのプランがあります。このプランに水上体験として、カヤック体験・SUP（スタンドアップパドル）・小野湖周遊コースを組み合わせ「山と水」による体験プランの確立により、更なる集客を目指します。



& 水上体験



【小野湖を活用した空間の創出】

⑪小野湖周遊屋形船の運航】

茅葺の宿「かるかや」を拠点に、小野湖周遊コースを設定し、昼サービスとして小野湖を満喫しながら食事が出来る屋形船サービスを実施する。また、宿泊者には「すきむらんど温泉かじかの湯」まで屋形船で渡し古民家のかるかやと温泉かじかの湯の宿泊セットプランを確立します。



&



須木の食材を使用したかるかや御膳



【天然総ヒノキの内湯風呂】



【源泉掛け流しの露天風呂】



【フィンランド式サウナ】

【小野湖を活用した空間の創出】

⑫. 滝つぼレストランの開催（観光DMOでの取組み）

大自然に囲まれた小野湖の上で、雄大な「まま子滝」を眺めながら限定2組の船上レストラン（フランス料理）を提供し、小野湖周遊クルージングをセットにしたプランを確立する。

*料理はジビエ料理・宮崎牛を主体に構成し、1組5万円以上の料金設定。

1. 癒し空間の創出



【参照：船上レストランのイメージ写真】

*船上でなくとも、浮浅橋またはイカダでも取組みを検討する。



【まま子滝展望所】



【須木の滝（まま子滝）】

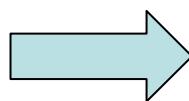
【小野湖を活用した空間の創出】

⑯プロジェクトマッピング】観光DMOの取組み

すきむらんど大つり橋やすきむらんどを会場に、大自然に囲まれた小野湖や山々に「プロジェクトマッピング」を映写し、夏の風物詩である打ち上げ花火と組み合わせた、新たなイベント確立をすることで、話題性もあり多くの来場者を呼び込む。



プロジェクトマッピングイメージ図



【すきむらんど大つり橋】



【須木の滝（まま子滝）】